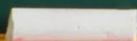


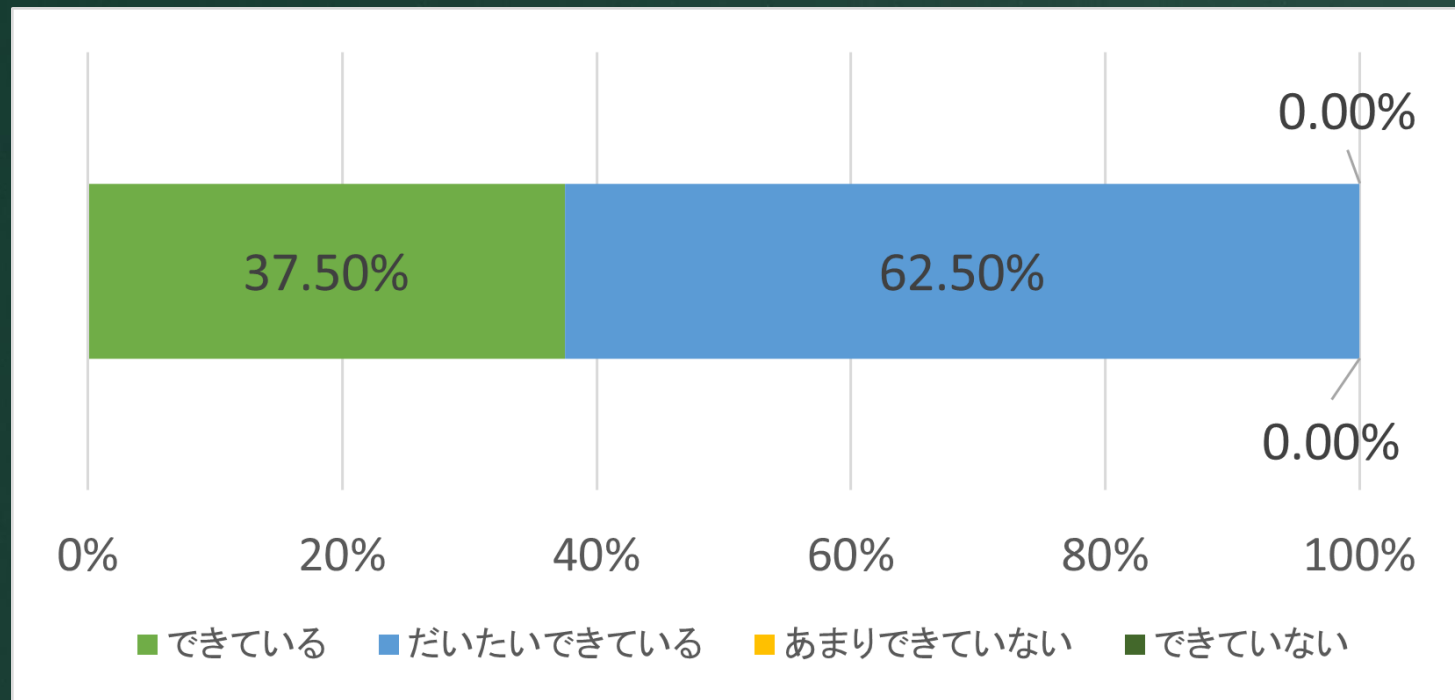
初任者研修拠点校指導教員連絡協議会
令和8年7月9日(木)

フレッシュ研修Ⅰ（初任者研修）の 充実に向けて①

徳島県教育委員会
教職員課 人材育成担当



校内におけるフレッシュ研修Ⅰは 計画通り行えていますか。



【現状】 データが語る新任者のリアルな姿

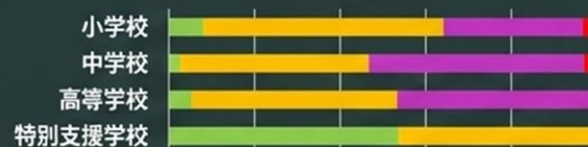
真面目で一生懸命。だからこそ、余裕がなく孤独に陥りやすい。

【経験の壁】



臨時的任用教員の
経験なしでの現場入り

【時間の壁】



在校時間の大部分は10時間～14時間未満。
休日も休養できていない。

初任者は真面目なゆえに
一人で抱え込み、
『個業』に陥りがちです。

【業務の壁】



指導案作成、教材研究、
学習規律の徹底への大きな負担感。

【関係の壁】



人間関係が未構築で、
悩みを校内で深く相談しきれていない。

NotebookLM

不可欠な2つのサポート

- ①指導教員からの『心理的なサポート』
- ②周囲と協働する(チーム学校)働き方の助言





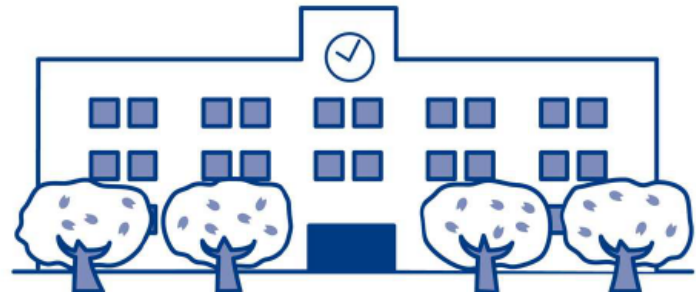
「個業」から「協働」へ



○「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための
環境整備に関する総合的な方策について（答申）
（令和6年8月 中央教育審議会）



業務の適正化を進めるに当たっては、従来はとすると一人一人の教師が強い使命感や責任感の下で、多様で幅広い業務を自己完結的に抱える傾向があったが、このような「個業」型の業務遂行から、業務の一部を思い切って他の教師や事務職員、支援スタッフ等と分担し「協働」していくことへのシフトチェンジの徹底により、「チーム学校」を実現していくことが必要不可欠であり、このことが働き方改革と教育の質の向上の両立につながるとの共通認識を持ち、学校の組織体制の在り方も見直すことが必要である。



出典：文科省作成資料に基づき作成（「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（令和6年8月 中央教育審議会））

【現行学習指導要領】

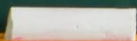
これからの教育の土台

～「社会に開かれた教育課程」と「見方・考え方」～

○社会に開かれた教育課程の実現

○各教科等の「見方・考え方」を働かせる

※ とくしま教職員研修のしおりP26～



【現行学習指導要領】

授業改善の核

～「主体的・対話的で深い学び」と「積極的な評価」～

○「主体的・対話的で深い学び」への授業改善

「初任者への指導ポイント：単に知識を『教え込む』のではなく、子供たちが自ら考え、対話を通じて学びを深められるよう、授業の工夫を促してください」

○学習評価の充実

「学習評価のポイント：評価を単なる『成績付け』で終わらせず、子供の学びの改善や、初任者自身の授業改善に生かす『積極的な評価』になるようアドバイスをお願いします」

次期学習指導要領を見据えた伴走と支援

【現行の深化】
主体的・対話的
で深い学び

【次期の視点】
多様性の包摂

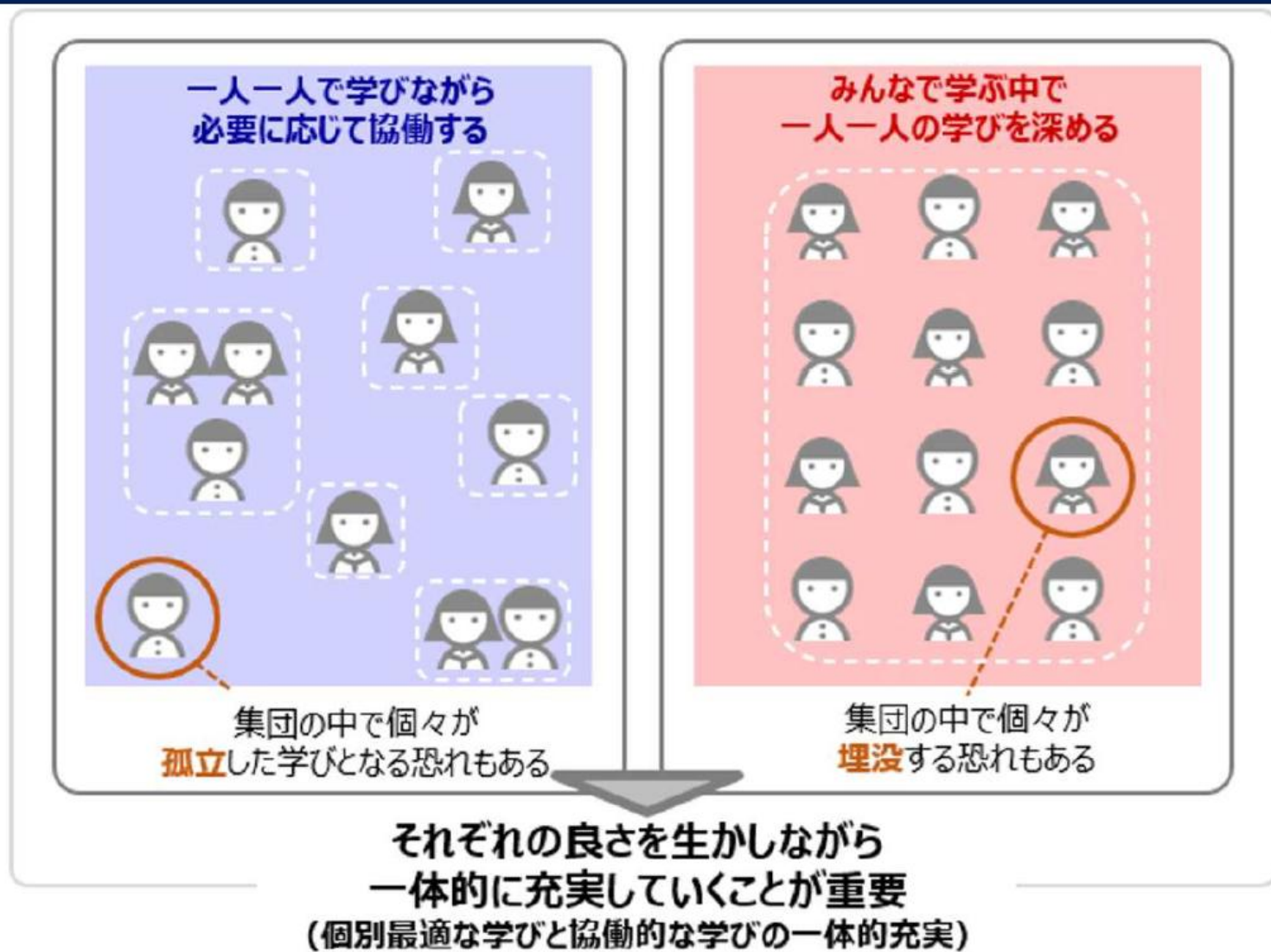
【最大の鍵】
余白の創出

課題の共有と次期学習指導要領の方向性

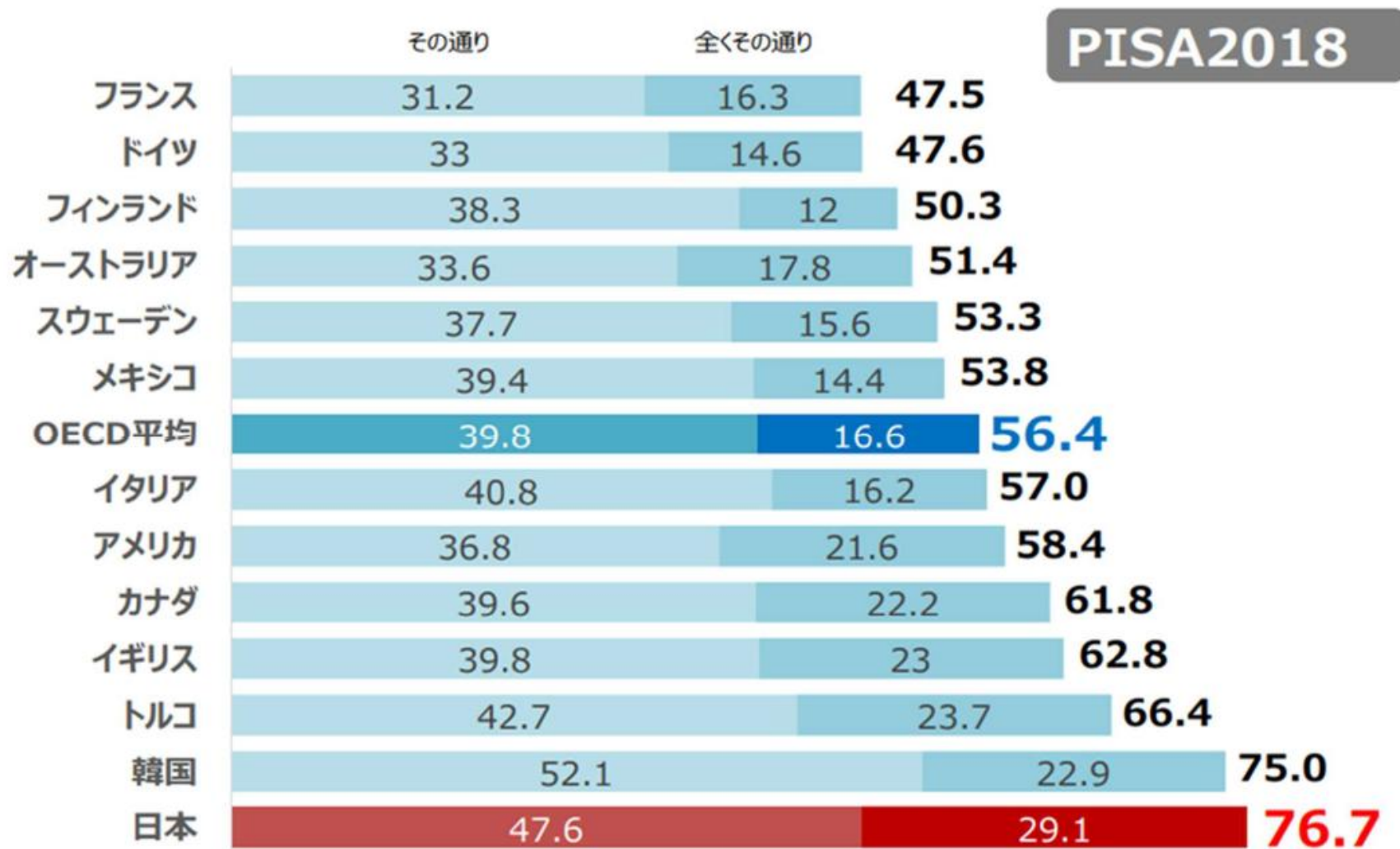
現状の初任者が抱えるリアルな課題と次期学習指導要領が示す
「新しい学びの姿」

「『余白』を作ることが最大の鍵です。初任者に時間的・心理的な『余白』があって初めて、子供たちの『多様性を包摂』することができ、結果として『主体的・対話的で深い学び』の実現に繋がります」

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実



失敗を恐れる生徒が多い



【視点Ⅰ：授業指導】

「主体的・対話的で深い学び」の実装

初任者の「教え込む授業」から「引き出す」授業への
転換をどう支援するか



「× 知識を
一方的に詰め
込む」

単に技術を伝達し「教え込む」研修



「○ 子供の多
様な見方・考
え方に焦点を
当てて引き出
す」

見方・考え方を「引き出し」省察
を深める伴走



【視点2：メンタル・働き方】

「多様性の包摂」と「余白」の創出

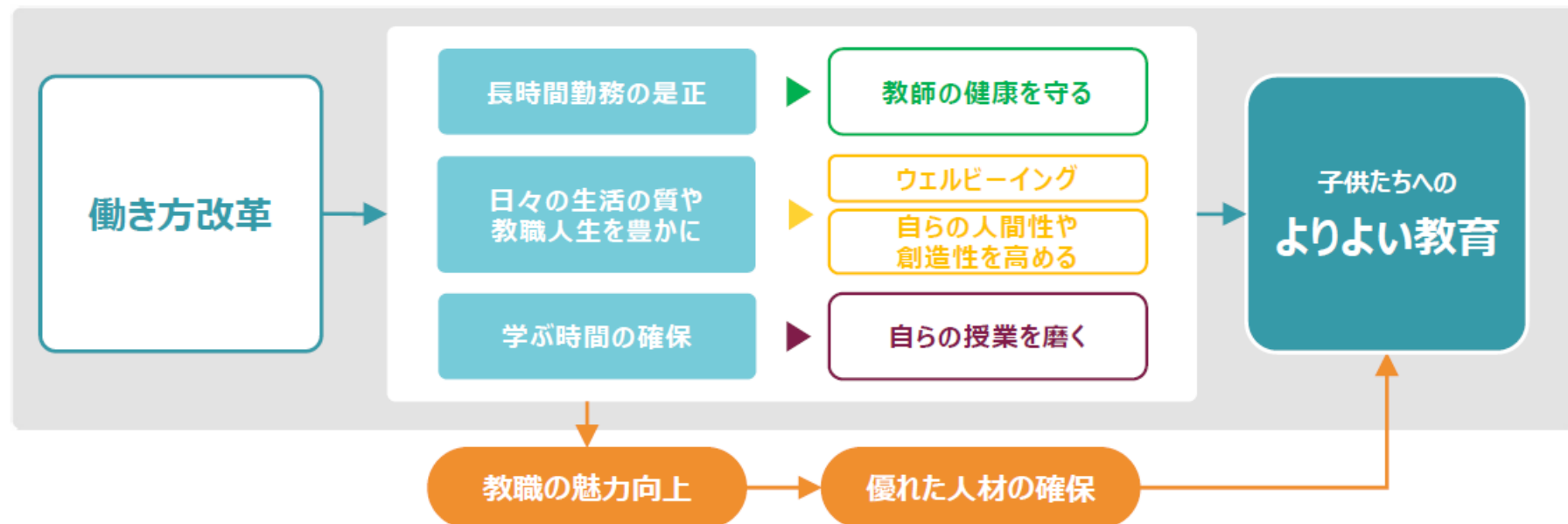
「余白」なきところに、他者を受け入れる「多様性」は生まれない。



「指導のポイント：初任者が一人で仕事を抱え込まないように、優先順位のつけ方（捨てる技術）や、他の教職員への相談の仕方をアドバイスし、校内での『協働』を促してください」

学校における働き方改革の目的

- 先生方が教育にかけける理想や思いを十分に発揮できる環境を整備すること
- 教職を目指す方々が、安心して教師を職業選択できるようにすること



「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）

（令和6年8月）（抜粋）

今般の教師を取り巻く環境整備の最終的な目的は、学校教育の質の向上を通じた、「全ての子供たちへのよりよい教育の実現」である。

具体的には、教師のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の是正を図ることで、教師の健康を守ることはもとより、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど教師のウェルビーイングを向上させることが重要である。また、自らの人間性や創造性を高め、その意欲と能力が最大限発揮できる勤務環境を整備し、教師がその高い専門性を大いに発揮できるようにすることにより、子供たちに対してよりよい教育を行うことができるようになる。

学習指導要領の実現（主体的・対話的で深い学び）

出典：文部科学省作成資料（「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（令和6年8月）抜粋）

拠点校指導教員のマインドセット転換

NotebookLM

従来型 (Traditional)

次世代型 (Next-Gen)

授業指導
(Instructional Support)

「To-Do (やるべきこと)」
をさらに追加・指導する。



「主体的で深い学び」を生むための
余白をデザイン
し、優先順位（捨てる技術）を教える。

サポート体制
(Support Style)

均質的で画一的な
アドバイスの提供。



初任者の多様な個性や特性を受容し、
個別に適応する **多様性の包摂**。

働き方・メンタル
(Workstyle &
Mental Health)

気合いと根性による
長時間労働の許容。



心理的安全性に基づく
持続可能な働き方の支援
と、早期のアラート察知。

「これからの初任者指導は、『教え込む・管理する』ことから、『引き出し・支える』ことへのシフトチェンジが求められています。ご自身のこれまでの指導を振り返るチェックリストとして、以下の表をご覧ください」

提出書類について

○フレッシュ研修Ⅰ（初任者研修）指導記録

様式4-①授業研修、様式4-②一般研修

※時数の確認をお願いします。

○研究授業学習指導案

※授業日と指導記録の日が同じことを確認してください。

☆押印の必要はありません。

今年度から電子データでの提出になっております。

提出日 市町村立学校 8月3日（月）

県立学校 8月3日（月）



報告書類について

(様 式 4 - ①)

令和6年度フレッシュ研修Ⅰ（初任者研修）指導記録（授業研修：4月～7月分）

月 日	教 科	授業分類，単元・題材〔										指導者
校 時	学 年	研 修 内 容 及 び 指 導 者 所 見										
4月6日	算数	示範	1	実践		協議		参観		研授		
(2)校時	(3)年	○○										

報告書類について

(様式 4 - ①)

令和6年度フレッシュ研修Ⅰ（初任者研修）指導記録（授業研修：4月～7月分）

月	日	教 科	授業分類，単元・題材〔 〕										指導者
校	時	学 年	研 修 内 容 及 び 指 導 者 所 見										
4月6日		算数	示範	1	実践		協議		参観		研授		
(2)		(3)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。										□□ □□
校時		年											
4月6日		算数	示範		実践	1	協議		参観		研授		
(4)		(4)	○○○										□□ □□
校時		年											
4月8日		道徳	示範		実践		協議		参観		研授	1	
(5)			○○○○○○○○○○。										校長，教頭， 学年主任， □□ □□
校時													
			1	合 計									5

指導した方全員を記載してください。
【研究授業】は管理職と関係教員が参観し、指導します。

※関係教員とは...
初任者研修の実施状況について協議する組織
(例：初任者研修推進委員会)
に属する教員のこと。

報告書類について

(様 式 4 - ①)

令和6年度フレッシュ研修Ⅰ（初任者研修）指導記録（授業研修：4月～7月分）

月 日	教 科	授業分類，単元・題材〔										指導者
校 時	学 年	研 修 内 容 及 び 指 導 者 所 見										
4月6日	算数	示範	1	実践		協議		参観	研授			□□ □□
(2) 校時	(3) 年	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。										
4月6日	算数	示範		実践	1	協議		参観	研授			□□ □□
(4) 校時	(3) 年	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○										
4月6日	算数	示範		実践		協議	2	参観	研授			□□ □□
(5・放) 校時	(3) 年	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。										
4月8日		時数は正確にカウントしてください。										校長，教頭， 学年主任，
(5) 校時												
4月13日	算数	示範	1	実践		協議		参観	研授			□□ □□
小		示範	1	実践	1	協議	2	参観	0	研授	1	
累		示範	1	実践	1	協議	2	参観	0	研授	1	合 計 5

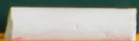
事務連絡

県教育委員会面談（オンライン）

9月実施予定

今年度初めて拠点校指導教員をされる方を対象に面談を行います。

経験が2回目以降の方も希望があれば実施します。
退室までに、チャットにて担当までお伝えください。



「初任者の伴走者として」

本日は、ありがとうございました。

引き続き、初任者への御指導、よろしくお願いいたします。

